

清水小学校 学校安全サポーター(揖斐川町)

～あいさつ運動・ふれあい活動の推進～

【団体のプロフィール】

代表者	鳥居 郁夫
結成	平成13年9月から
活動人数	(結成当時) 4人 (平成20年6月末現在) 7人
メンバー構成	地域住民有志により構成



(委嘱状の交付と打ち合わせ)



(登校指導が終わり、校長・教頭との打ち合わせ)

【活動のきっかけ】

- 平成13年6月に、大阪の池田小学校で発生した殺傷事件を受け、岐阜県では、各地区に安全サポーター制度の導入を図った。揖斐川町は、県の方針に従い指定を受け、各校区に組織の立ち上げを図った。
- 清水小学校校区では、早速4名の地域住民の有志が名乗りを上げ「校区安全サポーター」が誕生した。

【活動を始める際に用意したもの、最初の相談先】

用意したもの	<子どもの見守り活動> ・ 防犯ジャンパー・帽子・安全旗【町より支給】
最初の相談先	<子どもの見守り活動> ・ 清水小学校



校区を巻き込んで
子どもの安全を守る

ほほえみ教育



【活動区域、活動内容】

活動区域	清水小学校校区
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校の登下校時間帯に合わせて、集合場所から学校・学校から集合場所まで児童と一緒に歩き、安全パトロール【平日毎日】 ・ 揖斐川町教育委員会より安全サポーターに委嘱状交付【4月】 ・ 学期の始めに、学校で安全サポーターと校長・教頭の打ち合わせを実施【3回】 ・ PTA地区懇談会で、児童の様子を話し家庭のあるべき姿をアドバイス【6月】 ・ 地域の人達に、児童の様子を話し、地域で子どもたちの安全を図るよう啓発する【校区道徳教育推進会議】 ・ 3月に、安全サポーターに対して、児童による感謝の会を開催【3月】 ・ 児童の行動や様子等について情報交流【朝、随時】



(平成20年度安全サポーターの皆さん)



(子どもたちの雨の日の登校の様子)

【活動を継続的に行うために工夫していること】

- ・ 地域住民の全くのボランティアである。子どもたちの元気なあいさつが聞こえると、自分たちも元気になるし、若返る気がする。気負いすぎると継続できないので、できる日はやらせていただくという気持ちで取り組んでいる。
- ・ 自分が動けなくなるまでやりたいが、弱ってきたら他のメンバーと相談して、責任を持って後継者を捜してくる。輪番でやるのではなく、固定したメンバーで取り組んでいることも、継続につながっている。
- ・ 登校指導後の集合場所で情報交流ができ、楽しい時間になっている。
- ・ ほほえみ教育推進会議のメンバーとして、子どもたちの様子を話し地域が一体となるように働きかけている。

【これから活動を始めるボランティアの皆さんへのアドバイス】

- ・ 子どもと接することは、気分的にも若返るコツです。
- ・ 子どもと挨拶を交わすことは、自分の健康を保持する手段ともなります。
- ・ 自分自身の生活のリズムがつかめます。
- ・ 元気の源を、子どもたちからもらうので、ぼけ防止に役立ちます。
- ・ 他の住民より、子どもたちが自分たちの顔を覚えている子が多く、途中であっても挨拶してくれるようになります。



登校の様子

